

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援事業所 s u m i r e		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 30日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動エリアが構造化されていて、利用者にわかりやすい空間になっている。スケジュールを活用し、見とおしを伝えている。	活動がルーティン化しないように変化を取り入れる。多目的に使うエリアでの活動の幅を広げる。	スタッフの資質の向上を図るために、研修を受講する機会や事業所内研修の機会を確保する。
2	アセスメントから始めてスモールステップで成功体験につながる支援をしている。	支援計画は保護者のニーズを基に事業所でのアセスメントと関係機関のニーズと年齢を基に具体的な内容を設定している。項目ごとに達成を目標に計画に沿った支援をしている。	スタッフの資質の向上を図るために、研修を受講する機会や事業所内研修の機会を確保する。
3	家族や学校、関係機関と連携をとりニーズや支援内容の情報共有と相互理解を図っている。	日々の活動内容をSNSで発信している。支援計画の見直し時に保護者ニーズを書面でもらい、学校を訪問し情報を共有している。	家族に対しペアレントトレーニングや研修会の情報提供をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者どうしの交流の場がない。	まだ保護者会を開催していない。	開催日時、場所、内容等を決める際、保護者の意向をきいてひとりでも多く参加できるように諮らう。
2			
3			